

中山町公共施設再配置事業
中山町職員ワークショップ（意見聴取）
実施状況報告書

1 職員ワークショップ（意見聴取）について

(1) 実施の目的

町公共施設利用者、まちづくり施策・事業を担う者として、町職員の視点から、町の現状や将来見通し、施設の過不足、施設整備等に関する意見・提案等を出してもらい、共有することを目的に、職員ワークショップ（意見聴取）を実施する。

(2) 実施の概要

対象：各課・グループごとに実施

期間：令和6年12月～令和7年1月

会場：役場・中央公民館・保健福祉センター各会議室

方法：事前調査シートによる意見聴取

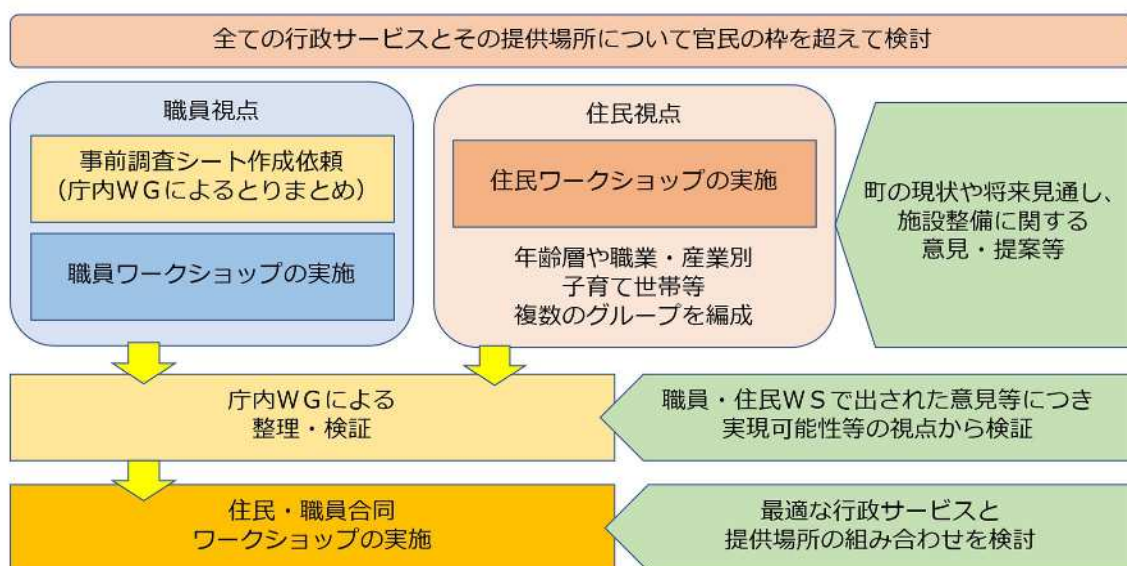
グループワークによる意見聴取（課題抽出・深掘り）

（開催14回、参加67名）

※ 事前調査シートの構成

- ①_各課・グループが所管している業務、提供している行政サービスを整理
- ②_業務執行、行政サービス提供に必要な公共施設を整理
- ③_業務執行、行政サービス提供における施設・設備上の課題を整理
- ④_業務分野における新たなニーズ（職員目線、住民目線）を整理
- ⑤_業務分野の将来方向性（拡充・縮小…等）を整理

《参考》ワークショップ開催 と検討 の流れ



2 職員意見について

■中山町のよさ（強み）・中山町の課題（弱み）と感ずることについて、出された意見を次のように分類し、想定される影響や得られた気づき等について整理しました。

大分類	中分類	小分類
町のよさ (強み)	■コンパクト	
	■交通アクセス	
	■施設	
	■D X	
	■イベント	
	■地域	
	■文化資源	
町の課題 (弱み)	■町	
	■移動手段	
	■業務	D X、業務範囲、業務人員、担い手、連携、その他
	■施設管理	管理運用、施設老朽化
	■施設イメージ	
	■バリアフリー	
	■セキュリティ	
	■施設配置	住民不便、職員不便
	■窓口・カウンター	
	■会議室	会議準備、会議室の不足、会議室の配置
	■スペース	相談スペース、打合せスペース、作業スペース、職員用スペース
	■事務室・事務環境	
	■書庫・収納	文書整理・保管・保存、収納の不足・不便
	■駐車場・公用車	駐車場、公用車

3 得られた気づき（現状と課題）

■職員意見から得られた気づき（現状と課題）を、分類ごとに整理しました。

分類	気づき（現状と課題）
町	・道路が暗い・狭い ・若者の居場所がない ・地域活動の弱体化 ・防災への課題
移動手段	・自家用車がなければ移動が困難
業務（D X）	・業務D Xが進まない ・業務通信環境が悪い
業務（範囲）	・1人が担当する業務範囲が広すぎる ・兼務業務が多く本来業務に支障が出る
業務（人員）	・業務人員（専門人材）が不足 ・（専門的な）サービスを提供できない
業務（担い手）	・公益的取組に係る担い手の不足 ・住民自治の意欲・認識の低下 ・住民価値観の多様化、取り組む問題の複雑多様化 ・除雪・環境保全分野における担い手の不足 ・医療・介護分野における担い手の不足 ・農業分野における担い手の不足 ・担い手不足による機能不全・弱体化
業務（連携）	・まちづくりビジョンが庁内・町内において共有されていない ・関係機関との連携に改善の余地がある
業務（その他）	・まちづくりビジョンが計画的な施策展開に結びついていない ・G Xに関する配慮・取組ができていない ・公共施設に求めるニーズ・役割の変化 ・公共施設がニーズ等の変化に対応できていない ・昼時間の業務（窓口・電話対応）に庁内の統一感がない ・元気な高齢者が少ない ・生活困窮者の増加 ・身寄りのない人の増加 ・児童虐待件数の増加 ・兼業農家減少による条件不利農地荒廃の進行 ・鳥獣被害の増加 ・学校と教育委員会の関わり

分類	気づき（現状と課題）
施設管理	・施設管理上の非効率による職員負担の増加 ・施設利用者を維持・拡大していくことが重要 ・施設が社会変化（新たに生じているニーズ）に対応できていない ・最大限有効に活用できていない施設がある ・施設老朽化進行により維持修繕等の負担が大きい ・複数の施設機能に跨る設備に関する調整の困難性 ・既存施設（会場）とイベント規模の不適合
施設イメージ	・多くの人々に施設を利用してもらう意識の不足 ・住民ニーズに合致した施設機能か ・町の拠点がわかりづらい ・町のシンボルとなる施設が少ない（ない）
バリアフリー	・複数施設でユニバーサルデザイン非対応 ・使いにくい（使いたくても使えない）施設
セキュリティ	・機密情報の取り扱いがやりづらい ・防犯対策に脆弱性がある
施設配置	・行政施設（事務所）分散による非効率 ・非効率は、利用者（住民）・職員両方に及ぶ ・車を運転しない利用者（住民）にとって、施設間移動の負担はとて大きい
窓口・ カウンター	・窓口案内・業務案内が非効率・わかりづらい ・待合用のスペースがない・不足
会議室	・会議室が会議開催以外の使い方が多い ・会議室不足による日程調整・別施設利用等の不便
スペース	・相談業務…プライバシー確保が課題 ・相談業務…子育て世代への配慮が不足 ・打合せ…効率が悪く職員時間を浪費、会議室の不足 ・作業…会議室の不足や非効率な作業 ・職員スペース…職員目線の働きやすい職場
事務室・ 事務環境	・事務環境に課題がある（暑さ・寒さ、狭さ、暗さ…）
書庫・収納	・保管文書が増加し管理が困難 ・書庫・倉庫等が執務スペースから遠い、分散しているなどによる非効率・管理の複雑化 ・後に閲覧・確認しやすい管理方法
駐車場・ 公用車	・駐車場が不足する施設がある ・利便性の高い公共交通機関がない

4 課題の改善に向けて

- 抽出された課題の改善方法について、検討・整理をすすめています。
改善方法は、次の3つに整理していきます。

抽出された課題（項目）

【業務非効率】【業務量の増】【業務人員不足】【新たな住民ニーズへの対応】

【住民不便】【移動困難】【担い手の不足】

【施設配置】【施設機能】【施設老朽化】 …など

改善方法の検討

改善方法の整理

1 住民・地域の取組みにより改善できること

2 現在の（行政）サービスの見直しにより改善できること

→定期的な事業の見直しの中で改善を図る

3 施設の整備や改修により改善できること

→今後の施設整備などに求めることは？

再配置の考え方

・町のよさ（強み）
（意見要旨）

中分類	意見
■コンパクト	・面積的に小さいので、公共施設間が近く、比較的行き来が容易であること
	・社会教育施設、体育施設、休養施設等（町民グラウンドからゆらら、最上川中山緑地まで）がまとまっていること
	・コンパクトゆえ、有意義に住民サービスを提供できているところがあること
	・町がコンパクトなため、お互いの顔がわかる中で仕事ができたり、顔なじみができること
	・町が小さいため、要対応事案への対応が早い
■交通アクセス	・国道112号やJR左沢線などにより、他市町に移動しやすいこと
■施設	・総合体育館は、イベント会場や避難所としての運用も含め、通年有効利用されていると感じること
	・中央公民館は、冷暖房完備の100人超収容可能な集会場であり、様々な団体が利用していること
	・中央公民館は、住民や小学生もロビーを利用するなど、集いの場となっていること
	・図書館は、月1回のお話会など、親子連れの居場所となっており、町内外の利用者から好評を得ていること
	・図書館は、ざわめきのある図書館として、親子連れなど多少騒がしくなっても受け入れてくれること
	・保育園がきれいなこと
	・最上川中山緑地・せせらぎ公園などが使いやすいこと
■DX	・住民票、課税証明書等をコンビニで取得できるようになったこと
	・住基・税務・会計システムが統一されており便利なこと
■イベント	・イベントが拡大傾向にあり、マスコミからの問い合わせ等が増加していること
	・芋煮会発祥の地の認知度が上がっていること
■地域	・学校活動に協力してくれる地域の方が多いこと
■文化資源	・館のイチヨウ、お達磨の桜、黒塀のまちなみ、資料館

・町の課題（弱み）
（意見要旨）

凡例 総務広報課・総合政策課・共通 住民税務課 健康福祉課 産業振興課 建設課 教育課

中分類	意見	想定される影響
■町		
	・中央公民館前の通りが暗いこと	・中高生をはじめとする歩行者が危険・恐怖感があり、運転者も同様
	・19時以降、集まることができる場所等が少ないこと	・中高生が主体となる活動につながらない
	・中高生の居場所がないこと	・中高生が主体となる活動につながらない
	・青少年の活躍する場所が少ないこと	・青少年が主体となる活動がない（少ない）
	・自治活動の衰退	・多様な分野において、行政が関わる必要のある場面が増加する
	・まちづくりを自分事としないこと	・住民の行政任せ・権利者が管理すべきという認識が強まり、協働・公益的認識が希薄になる
	・施設立地の安全面（ハザードエリア）	・多様な災害に対応できる安全な避難所等の確保が難しい
■移動手段		
	・福祉センターへの移動手段・交通手段がないこと	・自家用車のない人が、保健福祉センターでの手続き、事業参加等ができない
	・高齢者等、クルマのない人が（保健福祉センターに）来るのが大変なこと	・上記のような移動困難者が増加すると、現行の業務スタイルを維持することが難しくなってくる
	・車がないので保健福祉センターまで行くことができない、と言われることがあること	・移動困難者は、日常生活を送ることに困難性がある可能性がある
■業務		
DX（オンライン申請、ペーパーレス、システムなど）	・町の勤怠管理業務の効率化を図る必要があること	・勤怠管理業務に多くの時間と労力を費やしている
	・教職員はタイムカードでの勤怠管理である	・町はタイムカードでの勤怠管理が行われておらず、入退庁管理が甘い
	・マイナンバーカードの活用が進んでいないこと	・活用機会が少なく、業務DXが進まず、住民がメリットを享受できない
	・電子申請を導入したいが、高齢者等の対応に困難性が想定されるため、紙と電子データが混在することになり、業務が余計煩雑になる恐れがあること	・意見の状況に対応する仕組みがなければ、電子申請への移行は難しい
	・本人確認のいない申請であっても紙申請だけで受付していること	・申請者は本来窓口に行く必要がないのに、行かざるを得ず不便である
	・書類の整理が煩雑であり、電子決裁の早期導入が望まれること	・現行業務スタイルや関連課題は変わらず、リモートワークも実現しない
	・国県メール・通知等で印刷出力に長時間を要するものが多いこと ⇒ 文書による情報共有のコストパフォーマンスが悪い	・他の業務に費やすべき時間の確保が難しくなる、ペーパーレスに逆行する
	・事務ペーパーレスが進まないこと	・管理文書が増加し続け、書庫スペースがいくらあっても足りない
	・職場のWi-Fi環境、自席のインターネット環境がないこと（共用PCでは利用が制限されること）	・多種多様な情報を収集するツールが使いにくいので、情報収集ができない
	・オンライン会議がやりにくい	・オンライン会議の準備のために時間を要している
業務範囲	・保健福祉センターでは、ネットワークが遅くLGにつながらない、印刷ができないなど、業務に支障が生じる場合があること	・業務を円滑に進めることができない
	・担当業務の範囲が広すぎる	・業務に対する対応を広く求められ、知見等が浅くなりがちになる
	・担当業務の兼務が多すぎて、すべてが中途半端になってしまい、事業を突き詰めることができないこと	・職員（特に専門職）が自らが持つ専門性やスキルを活かし、高めることができない
	・施設維持管理等の兼務により、専門職が本来担うべき業務に支障が生じる ⇒ 業務兼務が多すぎ中途半端になる	・職員（特に専門職）の能力を活かしにくい
	・総合窓口では、他課業務（制度案内や申請受付等）を扱うことがあること	・他課業務の負担から、本来業務に支障が生じる
業務人員	・保健福祉センターでの総合窓口業務が負担となっていること	・他課業務の負担から、本来業務に支障が生じる
	・業務に対し職員数が不足していること	・兼務業務や専門外業務を担当することにつながる
	・施設維持・更新業務や会計業務などにあたる専門人材が不足していること	・一般職が専門業務を担うことも効率が悪く、業務に多くの時間を費やしたり、専門外ゆえのミスにつながる可能性がある
担い手	・保健師業務（派遣）が増えていること（救護・避難所等）	・保健師の負担が大きくなる
	・民生児童委員のなり手が少ないこと	・委員と行政の役割分担が崩れ、行政の対応範囲が拡大するが、きめ細かな対応が難しいため、苦情等が増える
	・持ち込み除雪車両、除雪担い手（町内建設事業者）が減少していること	・町の除雪体制を維持していくことができなくなる
	・医師の高齢化による地域医療・日曜当番医の継続が難しくなっていること	・町の医療体制を維持していくことができなくなる
	・介護サービス・医療は町外への依存が大ききこと	・移動困難と併せて、住民の医療サービス環境が悪化する
	・農業者の担い手不足による農地の遊休化が進んでいること	・農業が有する公益的機能や、農業文化が失われていく

中分類	意見	想定される影響
連携	・生活困窮者などの相談業務は、本来、社会福祉協議会が相談先として機能すべきであるが、学童運営に比重が割かれ町職員への負担が増えている	・社会福祉協議会が本来担う機能が弱体化する
	・観光協会の窓口の場所や運営 ⇒ 観光協会の法人化がまとまらない	・関係者を交えて、明確かつ実現可能なビジョンを設定できないと、少しのハードルで取組みがぶれてしまう
	・公社は2ついない	・公社の在り方について、検討が必要
	・特産品販売の場所・機会	・販売場所・機会の確保が、特産品を用いた町PRにつながる
	・水道企業団とデータのやり取りがあるが互換性がなく手入力作業が多いこと	・入力業務に時間を要するほか、入力ミス等のリスクにつながる
	・検針依頼について、水道企業団や簡易水道組合とやりとりがあり手間がかかること	・業務効率が上がらない
	・収納情報が届くのが遅くなり、督促等の行き違いにつながってしまうこと	・督促の行き違いによる住民苦情への対応など、新たな業務が発生する
	・WPPP（水分野の公共施設を対象とした新しい事業体系（官民連携方式））による維持管理、事業者がいないこと	・事業者が参画できなければ、直営による維持管理を継続することになり、町に技術的専門性が求められる
	・水道企業団の将来的なあり方がわからない	・将来見直し検討にあたり支障となる
	・下水道事業は、上水道と同等のエリアをカバーする重要なインフラであるが、組織的に脆弱	・下水道が適切に運用されなければ、住民生活に多大な影響が及ぶ
その他	・商工会より、場所が離れているため連携がとりづらい旨の声があること	・商工事業者の意見を反映した実効性ある商工振興施策を展開することが難しい
	・学校の将来構想検討に生涯学習Gも参加すべき	・学校教育と関係性の高い社会教育・生涯学習等の視点が欠落する
	・部活動の地域移行が生涯学習Gが担当するのはいかがなものか	・活動場所である学校の関わりが不足する
	・「まちづくり」の舵取り	・町が目指す姿に向けた計画的な取り組みにつながらない
	・GX（グリーントランスフォーメーション、脱炭素社会に向けたカーボンニュートラルの取組み）に関する配慮・取組があまりできていないこと	・自治体として求められる役割への認識不足、社会的信頼低下につながる
	・健康な高齢者が少ない	・地域担い手の不足、介護サービスを受ける者の増加につながる
	・介護予防事業参加率が低いこと（特に男性）	・地域担い手の不足、介護サービスを受ける者の増加につながる
	・介護給付費が多くなる（2040年問題）	・介護保険料の増につながる
	・認知症予防ができていない	・認知症の者の増加につながる
	・地域における介護予防事業が展開しづらい	・地域自ら実施することが難しくなり、行政に関わる場面が多くなる
	・困難ケースの相談業務には、時間を要すること（20～30分）	・相談業務に要する時間を削減することは難しいため、他の業務にかけ時間圧迫する
	・健診バスの利用者が少ないこと	・健診バス運行の効率が悪いと、運行自体の見直しにつながる
	・生活困窮者が増えており、相談来庁も困難な方がいる	・行政に関わる必要のある事案が増加する
	・児童虐待件数が増加している	・行政に関わる必要のある事案が増加する
	・確実に身寄りのない人が増えていく	・行政に関わる必要のある事案が増加する
	・下水道施設更新が増大すること（中継ポンプ場等）	・経費負担の増、下水道使用料の見直しの必要性につながる
	・鳥獣被害が増えていること	・人的被害、物的被害、農作物等の被害が想定される
	・みのり農地貸付リストの実効性	・農地有効活用の取組みがなければ、遊休農地の増加が想定される
	・兼業農家（中小農家）の減少により、条件不利農地の荒廃が進み、産直への出荷ニーズが減少している	・専業・大規模農家への集約が主体となり、条件不利農地は担い手がみつからず、荒廃が進む
	・昼休みの対応（昼当番）に庁内の統一感がないこと	・対外的に、12時から13時まで開庁していると言いづらい
	・まるっと、達人釜、加工場の利活用（キーマン・ビジョン）	・関係者を交えて、明確かつ実現可能なビジョンを設定できないと、少しのハードルで取組みがぶれてしまう
	・地区公民館から中央公民館へ住民の利用ニーズがシフトしている	・地区のつながりの弱体化と、地区公民館の使いにくさ（使い方がわからないなど）から、使われなくなる
	・ほんわ館が多世代が集まる場所へシフトしている	・集いの場としてどのような機能が必要なのか検討が必要になる

・町の課題（弱み）
（意見要旨）

凡例 総務広報課・総合政策課・共通 住民税務課 健康福祉課 産業振興課 建設課 教育課

中分類	意見	想定される影響
■施設管理		
管理運用	・除雪について、特に中央公民館や保健福祉センターでは、大雪の時除雪作業に時間がかかる、除雪作業が終わらないとか、天候により連日除雪を行うことになり大変だという意見があること	・施設分散による雪対応力の不足
	・施設のメンテナンスについて、役場だと技能職員が対応するが、中央公民館や保健福祉センターは事務職員が対応することになり負担があること	・宿直警備がない施設は施設管理業務の負担がある
	・朝の始業前の清掃や、8時までに登庁する鍵当番などに負担があること	・小学校は新たな教育ニーズに施設が対応できていない
	・保健福祉センターに警備員が配置されていないこと	・施設の修繕等、維持コストが増えていく
	・保健福祉センターの施設機能面へのニーズが把握できていない	・管理者、運用がことなる施設が連結していることで弊害が生じている
	・イベント広場の水はけが悪い、イベント開催に適した場所がないこと	・イベント準備側・イベント参加側両方の不満につながる
	・社会教育施設へのニーズの変化に対応できていない	・希望する使い方ができない等の理由から、利用者数の減少につながる可能性がある
	・学校施設の空き教室が少ないこと（支援学級の増、学童併設による）	・支援学級等をはじめ、その時々状況に応じた対応が難しくなる
	・小学校の教室が狭いこと（タブレット等、新たな物品が多くなったことによる）	・整備時点では想定されない使い方がなされ、日常の学校生活に影響が生じる可能性がある
	・小学校は施設管理従事者が複数おり管理しづらい（教育委員会・教員・用務員）	・施設管理に関する情報共有が必要となる
	・小学校の図面が整理されていない	・修繕等が必要となった際、円滑な対応を行うことができない
	・学校からの予算要求が多く教育長査定を行っている（あったらいい的な要求）	・予算化が難しく、効果的・効率的な教育・業務につながっていかない
施設老朽化	・中央公民館は老朽化により各箇所の修繕に苦慮していること	・更新対象施設であり、大規模改修ができないため、利用者・職員の施設利用に影響が生じる可能性がある
	・資料館のライトカバーは特別な部材を使っており、修繕がしにくいこと	・修繕ができない、又は修繕に係る経費が高額となる可能性がある
	・総合体育館は、毎年の修繕費が高額であるほか、トレーニングルームの機械が古くなっていること	・使用料等の見直しや、利用者数の減少につながる可能性がある
	・中央公民館、総合体育館、資料館は照明LED化が必要となっていること	・蛍光灯製造停止対策やGXへの対応として、取り組む必要がある
	・図書館は雨漏りしている箇所があり、蔵書が濡れてしまうなどの不都合があること	・施設修繕の必要性があり、利用者数の減少にもつながる可能性がある
	・町民プールは、老朽化の進行による突然の機能停止の懸念があるほか、委託料が年々高額となっており、使用料の見直しが必要であること	・町民プールの使用料が高額になれば、利用者数の減少につながる可能性がある
	・柏倉家住宅は、設備の不足・老朽化・耐震性の不安等もあり、本格的な修繕が必要なこと	・柏倉家住宅の維持保存に要する負担が大きくなる
	・保健福祉センターは、大小の修繕箇所が多いことに加え、ひまわり荘とつながった施設であることから各種調整が大変であること	・設備修繕更新等に係る経費や責任区分、工期等に調整が必要になる
	・ゆららは、施設の老朽化に対し、満足な修繕改修ができないことに加え、2号源泉が壊れてしまったこと	・基幹的な施設であり、温浴施設機能に影響を及ぼす恐れがある
■施設イメージ		
	・役場庁舎が目立たない、場所がわかりにくいこと	・利用者への配慮不足
	・中央公民館は、オープンな感じがせず、初めての出入りがしづらい（最初のハードルが高い）こと ⇒ 利用方法を知る者に利用が偏る	・施設利用者が増えない
	・ペンギン公園で遊ぶ親子連れがトイレを借りるときなど、入っていいのかわからないこと	・公共施設の有効活用につながらない、利便性が高い施設群であるにも関わらず、そのことが認知されない
■バリアフリー		
	・役場庁舎は、施設に段差が多い、エレベーターや多目的トイレがないなど、障がい者や高齢者に対する配慮が不足していること	・要配慮者への対応不備
	・中央公民館は、エレベーターがなく、階段が上れない方は、2階を利用できないこと	・子育て者への配慮不備
	・授乳室がない	・子育て者への配慮不備

中分類	意見	想定される影響
■セキュリティ		
	・業務用PC画面が来訪者から見えてしまうリスクがあること	・個人情報の保護ができない
	・個人情報を取り扱う上で、セキュリティを万全にする必要があるが、役場はセキュリティが甘いと感じること	・防犯対策が不備
	・例えば、休日に地域で印刷機を利用する際など、物理的障害がないため、関係者以外の者であっても執務スペースに入ることができてしまうこと	・情報漏洩等につながるリスクがある
	・誰でも簡単に執務スペースに入ることができてしまうこと	・情報漏洩等につながるリスクがある
	・執務スペースを監視するための防犯カメラなどは設置されていないこと	・情報漏洩等につながるリスクがある
	・キャビネットのカギが壊れたままになってしまっているものがあること	・情報漏洩等につながるリスクがある
	・中央公民館では、不審者がきたときに通報する非常用ボタンなどがあれば安心できるという意見があること	・多様な人々が入り出す施設であり、リスクへの備えは利用者・職員の安全の確保につながる
■施設配置		
住民不便	・公共施設（職員のいる施設）が3箇所に分かれており、住民・職員ともに不便が生じていること	・利用者、職員ともに時間浪費、交通費浪費
	・手続きによっては、役場・中央公民館・保健福祉センターを行き来してもらう場合があること	・車がない利用者には負担が大きい
	・高齢者や障がい者など、移動に困難がある住民にとって、移動負担が特に大きくなること	・車がない利用者には負担が大きい
	・国道458号が朝の渋滞で通勤・登園が大変	・国道112号を主に利用する者には、手間がかかる
	・避難所として総合体育館は避難しづらい	・避難経路が浸水する恐れがある
職員不便	・公印受領や文書連絡、打合せ、決裁手続き、施設間移動にロスがあること、当番業務の負担があること	・職員の時間浪費
	・業務上の連携が必要となる健康福祉課・教育課・住民税務課より、事務所が離れていることによる事務不便の意見が多くあったこと（業務手続上、子ども・介護・福祉にまたがる業務）→想定される連携事務は？	・利用者、職員ともに時間浪費、交通費浪費
	・この手続きは役場、これは保健福祉センターと、所管・窓口がわかりづらく、誤った案内につながる恐れもあること	・利用者、職員ともに時間浪費、交通費浪費
■窓口・カウンター		
	・総合窓口では、住民G職員に案内対応（会議会場、業務所管課・受付窓口等）が求められ、本来業務の支障となっていること（総合案内がない）	・施設入口に近い窓口職員へ来庁者対応業務の負担が偏る
	・催事掲示板や住民の方が求める業務を担当する課に案内できるサービスがあるとよいという意見があること	・窓口利用者が不便、時間浪費
	・庁舎内（2階）の受付カウンターが明確に区別されていないので、来庁者が迷ってしまうこと	・窓口利用者が不便、時間浪費
	・窓口が狭く、足の不自由な方、車いすやシルバーカーで来所する方が不便を被っていること	・窓口利用者が不便、利用できない
	・窓口カウンター（若しくは待合スペース）が不足し、相談者が廊下で待ってもらうことになる場合があること	・窓口利用者が空調設備のないところで待たされる
	・来庁者が、手続きや用件で、どこにいけばいいかわかりづらい（場所も所管も）という意見があること	・窓口利用者が不便、時間浪費
■会議室		
会議準備	・議会会場準備に毎回時間を要すること	・職員の時間浪費
	・中央公民館大ホールで行う会議等の設営・撤去に時間を要すること	・職員の時間浪費
会議室の不足	・会議室が不足し、予約がとれないこと（時期によっては、数か月前であっても予約できないこと）	・会議日程調整に時間を要する
	・会議室の予約ができないため、会議等の日程調整が難航することや、別の施設の会議室を使用することになる場合があること	・職員の時間浪費、別施設を使わなければいけない不便
	・中央公民館1階に会議室が少なく、予約がとりにくいこと	・施設を最大限に活用できない、住民・職員不便
	・中央公民館の会議室と大ホールの間くらい部屋について、ニーズがあるのではないか（大ホールにニーズが偏る）	・参集人数に適合した会議等の開催、無駄のないスペース活用
	・会議室の利用目的として、会議開催のほか、次のようなもの（スペース）があり、これらを兼ねて使用しているのが実情であること	・会議室の不足による非効率につながる
会議室の配置	・役場大会議室を使用している際は、通り抜けができなくなること	・住民・職員不便

中分類	意見	想定される影響
■スペース		
相談スペース	・相談者のプライバシー保護に関する配慮が求められるところ、プライバシーを確保できる相談スペースが限られていること	・プライバシーが保たれない
	・急な来客や、急な相談があった場合に対応できるスペースが確保されていないと、対応に困る場合があること	・命に係わる事案対応ができない
	・保健福祉センターの相談室は狭く圧迫感を与えるおそれがあるほか、隣室に音が漏れるおそれがあること	・プライバシーが保たれない
	・配慮が必要な電話相談などの場合、窓口が近いことなどもあり、事務室内の自席で業務がやりにくい場合があること	・プライバシーが保たれない
	・赤ちゃんとお母さんが過ごしやすいスペースがあることが望ましいこと	・子育て世代の施設利用が不便
	・子育て世代等が多く訪れる相談窓口については、一緒に来た子どもが待機できるような遊戯スペースを望む意見があること	・子育て世代の施設利用が不便
打合せスペース	・打合せを行う場所（スペース）がいつも不足していること	・職員の時間浪費
	・（執務スペースの近くに）打合せスペースがないこと	・職員の時間浪費
	・ちょっとした打合せ場所がないこと	・職員の時間浪費
	・中央公民館は、事務所と地域の方が使える部屋が近いこと（離してほしい）	・セキュリティが保たれない
	・中央公民館は、職員同士の打合せスペース（一般の方がいないところ）が少ないこと	・職員の時間浪費
作業スペース	・納付書等の封入作業の際のスペースが不足していること	・会議室の不足や、自席で非効率な作業を行うことなどにつながる
	・郵便物発送準備の際に会議室を占有していること	・会議室の不足や、自席で非効率な作業を行うことなどにつながる
	・個人情報を取扱う・管理するスペースが不足していること	・セキュリティが保たれない
	・自席以外でPCを使用する場合、LANケーブルや電源等の準備が大変なこと	・職員の時間浪費
職員用スペース	・更衣室やロッカーが狭いこと	・物品の多い職場等では、入りきらない
	・仕事と休息・休憩の区別ができるような、職員用のスペースを望む意見があること	・オンオフの切り替えができず、業務効率が上がらない
	・災害警戒や作業等の際に利用する仮眠室やシャワー室を望む意見があること	・長時間の警戒等が必要となった際、休憩をとれる場所がない
■事務室・事務環境		
	・役場庁舎は、夏暑く冬寒い、隙間風がある、事務室が狭く、すれ違う時に譲り合う場面が多いなどの意見があること	・業務効率が上がらない
	・中央公民館は、上記に加え、照明が暗いなどの意見があること	・暗いイメージにより住民に利用されない
	・保健福祉センターでは、専門職員の増により、事務室が狭くなっているという意見があること	・業務効率が上がらない
	・事務室内の配線等がごちゃごちゃになってしまっていること	・故障、事故、火災の原因となる
	・人事等、業務性質上機密を保持しつつ執務できるスペース（個室）があることが望ましいこと	・セキュリティが保たれない
■書庫・収納		
文書整理・保管・保存	・保管すべき文書が増加していること	・文書管理の不備、職員の時間浪費
	・文書保管の必要性や使用の可能性を含め、過去の文書の整理がなされていない場合があること	・物品管理の不備（重複した物品の購入など棚卸できていない）、
	・工事関係文書管理の考え方や文書データ保存に係る文書管理規程上の整理等が必要という意見があること	・管理に係る職員の時間浪費、棚卸されないことによる空間浪費、不要物品の購入
収納の不足・不便	・書庫・倉庫・保管庫が不足していること	・情報公開請求などに対応できない
	・書庫が事務室から遠く、書類を取りに行く・確認する際に不便であること	・職員の時間浪費
	・書庫の力ガの管理場所が不便であること	・職員の時間浪費
	・物品倉庫が事務室から遠く、狭いこと	・物品管理の非効率、職員の時間浪費
	・イベント準備のための物品を置いておくところがないこと	・イベント準備の非効率
	・旧書庫・南西書庫が古く、利用しにくいこと	

・町の課題（弱み）
（意見要旨）

凡例 総務広報課・総合政策課・共通 住民税務課 健康福祉課 産業振興課 建設課 教育課

中分類	意見	想定される影響
■駐車場・公用車		
駐車場	・役場職員駐車場や長崎小学校駐車場、保健福祉センター来客用駐車場が狭いこと	・施設利用者の時間浪費、車両事故が発生するおそれがある
	・長崎小学校は長期休みの際、放課後児童クラブの駐車場として利用されるため、役場来客用駐車場が不足する場合があること	・役場利用者の時間浪費
	・役場職員駐車場や中央公民館駐車場の舗装の劣化がみられること	・不十分な管理により利用者に事故発生がするおそれがある
	・イベントなどを開催する際、まとまった駐車場の確保が難しいこと（中央公民館、旧柏倉家住宅など）	・イベント時のコスト増
公用車	・公用車が不足している（予約が取れない場合がある）こと	・職員事務所が分散し公用車運用の最適化が図られない
	・公用車の車庫（屋根）があるとよいこと	・公用車予約、公用車除雪などによる職員の時間浪費